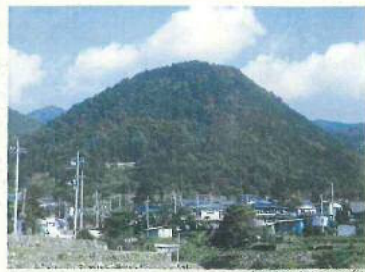


# 甲府自然休養林 ハイキングマップ

## 史跡 要害山

要害山は山全体が「要害城」という山城となっています。要害城は1520年に武田信虎が築いたもので、居館と政庁を兼ねた武田氏館(現在の武田神社)に対して、緊急時に立てこもる詰めの城としての役割を担っていました。信虎・信玄・勝頼と三代にわたって使用され、武田氏滅亡後も修築・再整備されました。城は山腹から主部にいたる通路に沿って、柵形虎口(ますがとぐち)や郭(くるわ)が複雑かつ連続的に付設されているほか、塹壕(たてぼり)や堀切(ほりきり)を要所に設けて防衛を固めています。山頂の主部には規模の大きな建築物が存在したものと推定されます。南東尾根上には支城の熊城(くまじょう)があり、深い堀切で区切られた連続的な小郭と敵状登壇(うねじょうたてぼり)が特徴的です。また、ふもとには根古屋(ねごや)の地名が残り、城番を勤める武士の屋敷が置かれました。要害城は熊城とともに遺構の保存状態が良く、記録が豊富に残されているなど、戦国期の山城の様相を今日に伝える貴重なもので、平成3年には文化財保護法に基づく国の史跡として指定されています。



要害山(標高770m)



山頂と信玄公誕生の石碑



## 深草観音

高い岩壁を穿ってつくられた観音堂で有名な深草観音は、甲斐国観音霊場六番札所、別名、岩堂観音とも呼ばれています。この地は要害山の南麓に位置する瑞岩寺(746年創建)の旧地で、灯籠のある場所が山門跡と伝えられています。以前、観音堂の中に安置されていた本尊は現在、瑞岩寺に保管されており、岩穴の中には身代わりに三体の観音像が祀ってあります。本尊は高さ一寸八分(5.4cm)と小さいものですが、33年に一度開帳される秘仏となっています。また、毎年4月17日には当地で大祭が開かれ、県内外の信徒祈願者の参詣にぎわいます。御本尊：岩堂観世音菩薩 御詠歌：かきわけて来たれば深し岩堂の雲のめぐみのあらんかざりは



観音堂への経路



深草観音参道



参道手前への水場

- 固有林境界
- ハイキングコース
- 歩道
- ◀ 15分 ▶ コースタイム(目安)
- 見どころポイント

美しい自然を未来に残すため、ご協力をお願いします。  
 ◎動植物を採取しないで下さい。 ◎ゴミは持ち帰り下さい。 ◎山火事防止のため、たき火、歩きタバコ、タバコの投げ捨てなどはしないで下さい。 ◎濡りやすい岩場・石や滑いた木の根などでのつまずき、転倒に注意してください。 ◎時間と余裕を持って散策をお楽しみ下さい。

発行：林野庁山梨森林管理事務所 TEL:050-3160-6030  
 URL <http://www.kanto.kokuyurin.go.jp/yamanashi/>